















入院診療計画書

幽門側胃切除術を受けられる () 様へ

2 部 印 刷
1 部 : 患者ファイル

病名 _____ 年齢 _____ 生年月日: _____ 薬剤師 _____
 病状 _____ 受持看護師 _____ 病棟 _____ 管理栄養士 _____

手術日時 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 AM・PM _____ 時 _____ 分

病日	手術前日	手術当日		術後1日目	2・3日目	4日目	5・6日目	7・8日目	9・10日目	11~13日目	14日目~退院日
日付	____/____/____ ()	____/____/____ (術前)	____/____/____ (術後)	____/____/____ ()	____/____/____ ()	____/____/____ ()	____/____/____ ()	____/____/____ ()	____/____/____ ()	____/____/____ ()	____/____/____ ()
目標	安心して手術を受けることができる	痛い時や調子の悪いときなどに訴えることができる		しっかりと体を動かすことができる						分食について理解し実践できる	退院に向けての準備ができる
食事	手術前日21時以降嚥んだり食べたりできません (水分は麻酔科医から説明があります)	飲んだり食べたりできません		飲水できます	3分粥から開始となります	5分粥になります	全粥になります				やわらかめの食事になります
安静度	自由です 	ベッド上安静ですが、寝返りはできません	介助があれば、立ち上がり、歩いたりすることができます	自由です 							
清潔	術前処置が終了後、入浴をすることができます	入浴をすることができません 義歯・指輪・ヘアピンははずして下さい		おなかの管が入っている間は、毎日看護師が体を拭きにまいります			管が抜ければ、濡れないテープを貼ってシャワー浴をすることができます 			入浴をすることができます 	
排泄	夜8時と9時に下剤を内服します 	6時頃浣腸をします 麻酔で眠った後尿管の管を挿入します		尿管を抜きます (必要な方はポータブルトイレ・尿器を使用してください)			制限はありません 				
検査	入院日までに手術に必要なX線検査や血液検査があります 65歳以上の方は、血ガスの検査をします			採血と胸部・腹部のX線撮影をします 				7日目に血液検査があります 			必要があれば胃透視をします
治療	胃薬を内服していただく場合があります 持参薬は特に指示がなければ続けて飲んでください ※抗凝固剤(パナルジン・パファリン・バイアスピリン・ワーファリン・プラビックス・プレタールなど)を内服している方は中止してください 痛みが強い時、発熱時、吐き気があるときは薬を使いますので、ご遠慮なくご相談ください	朝、手術着に着替えて点滴を始めます 胃に管を入れます 注射または薬を内服していただくことがあります	持続点滴をします 抗生剤の点滴をします 背中(背中)に痛み止めの薬を入れる管が入ります 酸素吸入をします 医師・看護師が創部の状態の観察に伺います 傷にはカラヤヘッソップという透明な創面保護材を貼ります 腹部に管が入ります	術後3日目に点滴を終了します 医師の指示があれば胃の管をぬきます 薬がなくなり次第背中(背中)の管を抜きます 酸素の状態が落ち着いていれば酸素吸入は終了します			術後7日目に点滴を終了します 			術後7日目に創面保護剤をはずし、抜糸をします 	必要があれば胃透視をします
処置	おへそのそうじをします 希望により眠れるお薬を内服します 	毛剃りをします 医師からの指示がある方は弾性ストッキングをはきます		尿管を抜いた後、排尿状態の確認をさせていただきます							飲水・食事が開始となれば飲み薬を医師の指示により再開します(抗凝固剤の内服は医師の指示があれば再開します)
説明指導	麻酔科医が麻酔について説明します お薬などのアレルギー歴がある場合はお知らせください 主治医・看護師が手術について説明します 同意書は手術当日までに詰所にお渡しください 	手術中、家族の方は病室またはデイルームでお待ち下さい	痛みがある時は、遠慮なく看護師に申し出てください 必要時、痛み止めを使います 術後、主治医から手術説明があります	栄養士が食事について説明します(1回目) パンフレットをお渡しします			医師が病理組織の結果について説明します 	栄養士が食事について説明します(2回目)	薬剤師がお薬について説明します 看護師が退院後の注意事項について説明します 		術後の肺合併症・腸閉塞予防のためにも、術後積極的に身体を動かし歩行することがよいとされています がんばって身体を動かしましょう

※上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることもありますのでご了承ください

※ご質問等ございましたら気軽にスタッフへ声を掛けてください。

- ◇総合的な機能評価◇
- | | | |
|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 評価対象外 | <input type="checkbox"/> 問題なし | <input type="checkbox"/> 要経過観察 |
| ・日常生活動作 | <input type="checkbox"/> 問題なし | <input type="checkbox"/> 要経過観察 |
| ・認知機能 | <input type="checkbox"/> 問題なし | <input type="checkbox"/> 要経過観察 |
| ・意欲 | <input type="checkbox"/> 問題なし | <input type="checkbox"/> 要経過観察 |

※ 特別な栄養管理の必要性 有 無

主治医 _____ 印 又は署名 _____
 私は、上記診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 患者 又は 親権者・親族等サイン _____ (続柄 _____)